



NEW STAFF

新人自己紹介

浅利 智恵

あさり・ともえ

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 技術支援員

平成21年1月より、見附グループで技術支援員として、お世話になっております。

分子研では、今まで多岐にわたる設計経験を生かすべく、先生方が『ああしたい、こうしたい』ということ、3DCADで具現化し、装置開発室へ依頼するための図面を作成しています。実験が迅速かつ確実に行われるように、頑張っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

高田 紀子

たかだ・のりこ

技術課
機器開発技術班 機器開発技術二係員

平成21年2月1日より、技術課 機器開発技術班 機器開発技術二係に技術職員として着任致しました。これまでは、東京農工大学大学院 農学研究科 修士課程を修了後、民間企業で主に化学分析の業務に携わっておりました。機械加工については全くの初心者ですので、1から勉強するつもりで頑張っていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

邨 次 智

むらつぐ・さとし

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 助教

平成21年3月に東京大学大学院理学系研究科にて博士課程修了後、この4月1日より唯グループの助教に着任致しました。これまでは光やレドックスに的確に応答し新機能を発現する多核遷移金属錯体の創製を行ってきました。分子研では表面固定化錯体触媒の研究を中心としつつ、既存の分野にとらわれない新規な概念に基づく触媒創製にチャレンジし、新領域を開拓していきたいと思ひます。

よろしくお願ひ申し上げます。

全 炳 俊

ぜん・へいしゅん

極端紫外光研究施設
電子ビーム制御研究部門 助教

4月よりUVSORマシングループにお世話になっております。専門は電子加速器と高輝度電子ビームを利用した光源開発です。大学時代は熱陰極高周波電子銃と呼ばれる小型電子ビーム源を用いた中赤外自由電子レーザーの開発を行っていました。今後はUVSORにおいて、入射器および放射光リングの高度化ならびに、新規光源開発を行っていけたら良いかと思ひております。

よろしくお願ひします。

永松 伸 一

ながまつ・しんいち

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 特任助教

千葉大学で博士課程修了後、千葉大学VBL 講師（中核的研究機関研究員）、千葉大学COEフェローなどを経て唯グループの特任助教として着任致しました。専門は、X線吸収分光、光電子分光などの理論研究で、実験結果のスペクトル解析と解析ソフトの開発なども行っています。優れた研究環境を生かして触媒機能を有する金属クラスターや分子などを対象に研究を進めてゆきたいと思ひます。

宜しくお願ひ致します。

大津 英 揮

おおつ・ひでき

生命・錯体分子科学研究領域
錯体物性研究部門 特任助教

平成21年4月より、「再び」田中グループにて特任助教として研究に取り組んでおります。

恵まれた研究環境のもと、日々、楽しんで研究に取り組んでおりますが、特に、再生過程を有する相互エネルギー変換の科学を錯体化学力により成し得たいと思ひております。

どうぞよろしくお願ひ致します。

石川 春人

いしかわ・はると

岡崎統合バイオサイエンスセンター
戦略的方法論研究領域 特任助教



京都大学大学院工学研究科博士課程中退後、大阪市立大学、スタンフォード大学、大阪大学での研究員を経て、4月1日より青野グループにて研究に従事しています。金属蛋白質を対象として細胞生物学から物理化学まで幅広い手法を利用して研究してきました。研究対象を広げながら蛋白質の新たな機能解明に取り組みたいと考えています。

よろしくお願い致します。

宮崎 秀俊

みやざき・ひでとし

極端紫外光研究施設
光物性測定器開発研究部門 IMSフェロー



平成21年3月に名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程を修了後、本年4月よりIMSフェローとして光物性測定器開発研究部門木村グループに着任致しました。これまでも特別共同利用研究員として分子科学研究所の実験施設を利用させて頂いておりました。さらに研究に集中できるこの環境を活かし、気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

河尾 真宏

かわお・まさひろ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 IMSフェロー



総合研究大学院大学において博士課程を修了、学振特別研究員を経て平成21年4月より永田グループに現職として着任しました。現在、人工光合成を目指したキノプール分子の研究を行っています。恵まれた研究環境を生かしより成長できるよう努力したいと思います。また、総研大生のころからバレーボール部に所属しており時間のある時は心地よい汗を流しています。興味のある方は参加してみてください。

がんばります、よろしくお願いいたします。

窪岡 亮治

つるおか・りょうじ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 IMSフェロー



2009年3月に大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程を修了した後に、この4月より櫻井グループのIMSフェローとしてお世話になっております。博士論文はバッキーボールと呼ばれるフラーレンに関する研究でしたが、櫻井グループではそれをお椀形に切り取ったようなバッキーボールについての研究で何かお役に立てればと思っています。

よろしくお祈りいたします。

林 雅人

はやし・まさと

光分子科学研究領域
光分子科学第一研究部門 研究員



平成21年3月に九州大学大学院理学府分子科学選考博士課程を修了し、現在、大島研究室にお世話になっております。博士課程では遷移金属を含むラジカルやビニルラジカルのミリ波分光を行っていました。これからは新しい環境で視野を広げて、研究を行っていきたくて考えております。

よろしくお願い致します。

松下 智紀

まつした・ともりのり

分子制御レーザー開発研究センター
先端レーザー開発研究部門 研究員



東京大学大学院工学系研究科で学位取得後、平成21年4月より現職に着任しました。これまで化合物半導体を用いて二次非線形光学効果を使った波長変換素子の開発を行ってきました。今後は、光パラメトリックチャープパルス増幅器に向けた、ポンプ用高強度超短パルスレーザーの開発と高い光学損傷耐性を有する光パラメトリック増幅素子の開発を目指したいと考えています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



YANG, Yong

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 研究員



I joined the group of Associate Professor Mizuki Tada in April 2009 as a postdoctoral fellow. I received my Ph.D in physical chemistry from Xiamen University (China) in 2006. Prior to being a fellow of IMS, I have worked in Shanghai Institute of Petrochemical Technology (SINOPEC, China) and the University of Tokyo at Prof. Iwasawa Laboratory as GCOE-postdoctoral fellow. My current research interests are mainly focusing on developing novel metal complexes catalysts for selective catalysis.

山本 嘉一

やまもと・よしかず

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒研究部門 研究員



徳島文理大学香川薬学研究科で学位取得後、平成21年4月から研究員として魚住グループでお世話になっております。学生時代はホスフィン配位子の合成研究を行っていました。現在は水中での不斉パラジウム触媒反応に関する研究に携わっています。分子研の恵まれた環境のもと、有益な研究成果が得られるようがんばります。どうぞよろしくお祈いします。

宮地 麻里子

みやち・まりこ

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体物性研究部門 研究員



東京大学で修士課程終了後、メーカー勤務、退職の後、東京大学大学院理学系研究科で博士課程、同博士研究員を経て、田中研究室で博士研究員として働くことになりました。ルテニウム錯体触媒を使った水の酸化、二酸化炭素の還元に挑みます。知り合いが少ないので友達募集中です。分子研の環境を活かして他の分野の方々とも交流したいと思っております。どうぞよろしくお祈い致します。

武次 徹也

たけつぐ・てつや

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 客員教授



東京大学工学研究科で博士号を取得、同大学助手、お茶の水女子大学助教授を経て、平成17年に北海道大学理学研究院教授に着任し、4月より分子研客員教授を拝命しました。研究は、理論化学分野で主に電子状態計算と振動分光・反応動力学計算のインターフェイスの手法開発に携わり、最近は励起反応ダイナミクスの第一原理手法の開発に取り組んでいます。どうぞよろしくお祈いいたします。

中澤 康浩

なかざわ・やすひろ

物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員教授



1992年4月より2000年3月まで分子集団研究系物性化学部門で助手としてお世話になりました。その後、大阪大学分子熱力学研究センター、東京工業大学理工学研究科化学専攻を経て、2005年から大阪大学理学研究科化学専攻に所属しております。本年4月より、客員部門で9年ぶりに分子研でお世話になっております。専門は物性熱力学で、極低温、磁場下、圧力下などでの分子性固体の熱力学測定の開発や、超伝導、磁性など電子が主体的に関与する凝縮系物性に関する研究を行っています。

中嶋 隆人

なかじま・たかひと

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



平成21年4月1日より、理論・計算分子科学研究領域の客員准教授を拝命いたしました。本務は東京大学大学院工学系研究科・准教授です。専門は量子化学と理論化学で、とりわけ、「次世代に向けた分子理論の開発とその展開」が現在の一番の関心ごとで研究の目標としています。理論科学の立場から分子科学の発展に少しでも貢献することができればと思っております。よろしくお祈いいたします。

雨宮 健太

あめみや・けんた

光分子科学研究領域
光分子科学第四研究部門 客員准教授



昨年度4月より客員准教授としてお世話になっております。なぜか昨年度の分子研レターズに掲載されませんでしたので、改めて自己紹介を致します。私は軟X線分光光学系の開発とそれをを用いた表面磁性・表面化学の研究を専門としています。これをそのままいかして、分子研ではUVSORにおいて高エネルギー分解能の分光光学系の開発・研究を行っております。

残り少ない任期ですが、よろしく申し上げます。

解 良 聡

けら・さとし

光分子科学研究領域
光分子科学第四研究部門 客員准教授



平成21年4月に客員准教授として着任いたしました。本籍は千葉大学大学院融合科学研究科ナノサイエンス専攻になります。専門は有機半導体分子集合体の表面および吸着界面の構造とその電子状態です。これまでUVSOR放射光施設の1ユーザーとしてお世話になってきましたが、今後は多少なりとも運営・管理面でお役に立てればと思います。

よろしく申し上げます。

関 谷 博

せきや・ひろし

物質分子科学研究領域
物質分子科学研究部門 客員教授



九大理学研究科博士課程修了後、東芝(株)、九大生産研助手、九大理学研究科助教授を経て現在に至っています。主な研究課題は、「分子クラスターの構造とダイナミクス」です。分子研には、共同研究、分子研研究会など約20年に渡り大変お世話になっており、感謝しています。今後2年間、分子研で学びながら、新たな研究の展開を目指したいと思っています。

伊 東 忍

いとう・しのぶ

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体分子科学研究部門 客員教授



平成20年度および21年度の2年間、生命・錯体分子科学研究領域の客員教授を仰せつかっております。この間、大阪市立大学理学研究科から大阪大学工学研究科(古巣)へ異動し、新しい研究室を立ち上げました。金属酵素の作用機構解明と酸化還元触媒としての応用を目指して、錯体化学的および生化学的の両面から研究を展開しております。分子研の豊富な研究設備を利用して更に研究をレベルアップできればと思っています。

長谷川 美 貴

はせがわ・みき

生命・錯体分子科学研究領域
生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



博士課程(青山学院大学)修了後、青山学院大学助手に就任、現在同大准教授として独立して研究室を主宰(この間、東大先端研やウイーン工大で客員兼務)。分子で構築された機能組織を新しい概念に置き換えて創ることが好きで、専門である錯体の光化学で挑戦しています。例えば、4nm厚の偏光発光性の希土類錯体薄膜がなぜ偏光発光フィルターとしてはたらくのか、この構造と光機能の相関のパズルを解くことに集中しています。

CONG, Zhiqi

岡崎総合バイオサイエンスセンター
戦略的方法論研究領域 IMSフェロー



熊本大学大学院自然科学研究科で博士後期課程を修了後、この4月中旬から総合バイオサイエンスセンターの戦略的方法論研究領域藤井グループにてIMSフェローとして採用されました。この前に、機能性有機分子の合成およびマンガン(III)を用いた酸化反応に関する研究を行っていました。分子研では金属酵素の機能と反応における研究をしています。新たな技術を用いて、研究の幅を広げて行ければと考えています。よろしく申し上げます。



福田 良一

ふくだ・りょういち

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 助教

京都大学大学院工学研究科で学位取得後、同研究科の21COEリサーチフェロー、量子化学研究協会研究員を経て、平成21年5月より江原グループの助教に着任いたしました。電子状態の理論計算が専門であり、電子励起状態や相対論的量子化学を対象とした理論開発や応用計算を行ってきました。分子研でも、オリジナリティーの高い研究を活発に行っています。

東 雅大

ひがし・まさひろ

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 IMSフェロー

京都大学大学院理学研究科化学専攻で学位を取得した後、ミネソタ大学での博士研究員を経て、平成21年5月1日より齊藤グループのIMSフェローとして着任しました。これまで、凝縮相中での化学反応を効率的に記述する手法の開発を行ってきました。今後も、今までの経験を生かして、研究を進めていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願ひします。

中山 隆博

なかやま・たかひろ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 研究員(日立日立研より出向中)

高知県で誕生後、京都、札幌、茨城、福岡と転居し、今回は5月1日に、茨城から岡崎に転居して着任致しました。

これまでではもっぱら有機ELDの研究をしておりました(「中山隆博」×「有機EL」でYahooなどで検索すれば一部出ます)が、今回は、有機ELDの遠縁にあたる有機太陽電池の研究に参加させて頂いております。いい加減に歳ですが、しゃべっ気は現役で、あちこちに顔を出させて戴くかもしれませんので宜しくお願いします。

百花草 知子

ゆりくさ・ともこ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 事務支援員

平成21年5月よりナノ分子科学研究部門櫻井グループの事務支援員としてお世話になっております。4年前に半年間魚住グループで事務支援員としてお世話になり、出産子育てを経て今回ご縁をいただき、4年ぶりにお仕事に復帰させていただくことになりました。

まだまだ慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯努めますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

奥村 久士

おくむら・ひさし

計算科学研究センター
准教授

私は2002年10月から2006年3月まで分子研の理論分子科学研究系で助手を務めていました。その後、名古屋大学COE特任講師、ラトガース大学研究助教授を経て2009年5月1日から計算科学研究センターで准教授を務めています。分子研の恵まれた環境で再び研究できることを幸せに感じています。専門は分子動力学シミュレーションです。分子動力学シミュレーションについてご質問がある方はどうぞお気軽に声をおかけください。

KOU, Yan

物質分子科学研究領域
分子機能研究部門 研究員

I received my PhD degree in Department of Polymer Materials and Science, Dalian University of Technology, China. And then I joined Prof. Jiang's group as a postdoc fellow May 16. My main project is focusing on the synthesis and application of a new family of 2D crystalline organic framework and conjugated microporous polymers, which allow potential utilities in the assembling photofunctional modules for high performance optoelectronics. When I came to IMS, I thought it was a quite place for study and research, and now the fact confirmed that. I will enjoy my life here.